

# 介護体験を聞く会




ホームページ  
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

## 第189回

### 介護体験を聞く会

平成29年9月30日  
(土)開催

出席者(職員)・・・柳田院長、柳田GM、柏倉GM、飯田GM、板井、吉田、漆原、高橋、長谷川、石川、村上橋口、工藤、杉山  
出席者(家族・他)・・・Hさん、大島さん(福祉サービス振興会) 今野さん、柴山さん、野々目さん、長島さん、長島さん、藤田さん、森下さん、中島さん

議題  
①Hさん(95歳女性)の事例検討  
②三々五々館開館式について  
③デイサービス・グループホーム運営推進会議

### Nさんの事例検討

検討の目的  
グループホームに入居されて8ヶ月経ちホームでの生活にも慣れてきた95歳女性の方の検討  
氏名 Hさん(95歳女性)  
生年月日 大正11年1月  
介護度 要介護1  
利用開始日 平成29年1月21日入居  
出身地 東京都世田谷区  
趣味 昔は編み物だった  
性格 頑固者、しっかり者で自分の意思が強く優しい  
主介護者 長男  
\*既往歴  
・腎盂腎炎  
・甲状腺の疑い  
・膝の裏に水がたまる

\*現病歴  
アルツハイマー型認知症(平成28年11月)  
腹部大動脈瘤(平成29

### 会報第189

平成29年10月20日発行  
発行所・・・(有)明寿会  
住所・・・川崎区中島1-13-3  
電話044-2333-0061  
\*今月は文化祭です。28日(土)29日(日)作品展と写真展です。

### 川崎の東海道交流館で



年4月)

\*現在の内服薬  
・N83 抑肝散加陳皮半夏(ヨクカンサンカチンピハンゲ)  
神経の高ぶりをおさえ、心と体の状態をよくする。

\*生い立ち  
大正11年1月4日生まれ、東京下北沢が実家で小林家は7人兄弟の長女

として生まれる。長男さんは、戦死され他3人の兄弟は病死され次女さん(闘病中)。三女さんは、健在でよく母に会いに来てくれたそう。関東大震災も経験しており本人は小さくて覚えてない様ですが祖母によると家には被害はなかったみたいですがしばらくは外に御座を敷いて生活をされていた。

父と母ともに実家は登戸近くで農家(梨など)。お休みにはよく泊りがけで遊びに行き従兄弟達と過ごした。戦時中は、埼玉にて大日本印刷会社に勤めた。戦後、タイ職人の堀田正次さんと結婚をされました。昭和25年に長男さんを出産。昭和27年に長女さんを出産され専業主婦で編み物(機械編)をして家計を支えた。平成18年8月1日：20年弱も闘病生活をしていた夫が他界された。

※堀田さんの先祖代々が奉公していた前田家とは、戦国、江戸時代から続く加賀藩を治める大名家。

### 江戸時代の衣装で



\*現在のADL  
歩行・・・入居当初はふらつきもありましたが、現在は足取りもすっかりしていて、散歩などの外出時にもよく歩かれています。  
食事・・・自立されていて、ほぼ毎食完食されています。  
排泄・・・拭き残しがあつて汚してしまうことが稀にあります、自立されています。  
着替え・・・見守りは必要ですが、自ら着替えることができています。  
整容・・・歯磨きなど声掛けしなくても自らされています。今でも自歯上下

で8本あります。

### \*入居前の様子

グループホームに入所される前は、柳田デイサービスを利用する予定だった。ご家族様から日中1人で家にいるのが不安。デイサービスを利用することで外出をする機会を作ってもらいたい。ご家族様の介護負担軽減を利用目的で平成29年1月12日から利用開始となりましたが、強い拒否があったため結局来ていただくことができずお休みとなりました。

平成29年1月16日に自宅で転倒・左前腕骨折となり入院になるも現状理解が難しく大混乱となり病院側での対応が難しくなって退院となつてしまいい自宅に帰られたとしても着替えや排泄など生活困難が生じるため平成29年1月21日に退院とともにグループホームへ入所になりました。

\*入居から現在までの様子と対応(職員)

入所当時の印象としまして、最初はしっかり者で

自分の意思が強く頑固な性格だと感じました。平成29年1月21日に入所となり当時は「どうしてここに連れてこられたかここはどこののか説明もなくただここに連れてこられどうしていいか分からぬしきつと息子が探していると思うから帰ります。ここからいったいどうしたら帰れるんですか。今頃大騒ぎになつてお巡りさんが探していると思うよ」と大混乱となり何度も何度も職員を変えどういった経緯でここへ来られたのか説明をさせていた聞いてもなかなか聞く耳をもつていただけでなかったのやほり理解してもらえずその状態が数日：数か月と続きました。

て納得して下さるようになってすこい大きな変化がみえ驚きと嬉しい気持ちになりました。我がグループホームでの日常生活では普段から「私に出来る事があるなら言つてね。そんなたいそれたことはできないけど」と笑いながら積極的につも職員を気にかけて声を掛けてくれます。又、座っている席から状況を見ては立つて駆け寄り、職員と一緒に家事のお手伝い(食器洗い、お盆拭き、洗濯たたみ、おしぼり作り、お買い物、掃除など…)綺麗にしてくれます。他にも、周りで困っているご利用者様がいたり手を掛けてお話を聞いたり手が差し伸べて下さるころがあります。グループホームでは、最年長でもありとても頼りがいのあるお姉さんの存在として日々を過ごされております。

### \*今後の課題

娘さんとしては、今後とも穏やかに過ごしてもらいたいとのこと。グループホームとしては腹部大動

脈瘤という病気があり、転倒などの刺激で破裂しないように気を付けて対応していく必要があります。

### \*グループホーム運営推進会議

入居されていたじさんがホスピスへ入院されることになり、退去されました。9月初めよりIさんが入居されました。それまで同じ建物の柳田デイサービスへ通っていたこともあり、入居後もスムーズです。

### 神奈川福祉サービス振興会・大島様より

平成29年1月に「グループホーム」の外部評価の際に調査に伺いました。

外部評価とは調査員が現場に伺い、働いている職員の話聞き、評価をします。決して他と比べるための評価機関ではありませんが、「グループホーム旭町」では先ほど例に上がったように同じ建物のデイサービスご利用の

方が入居される等の工夫があり、入居者の方々も落ち着いた生活が出来ている様に見受けられました。外部評価では事業所で良い点を評価し、不足している点を見つけ、より良いサービスを提供できる視点が大切ではないかと思えます。評価方法や内容についての研修案内や問い合わせにも対応できます。

### \*家族相談会

今野さん…自宅で洗濯物を干すよう頼まれていたのを忘れてしまふ事が時々ある。紙に書いたノートを机に置くが、閉じると忘れてしまふ。院長・柳田CM…書くこと忘れづらるので、ホワイトボードに書くなど、他の方法を試してみてもよいかもかもしれませんね。森下さん…帯状疱疹で入院をし、毎日のように病院へ行きました。歩けなくならない様、頭を働か

せられる様に色々なドリルや編み物などを病室でしました。  
本人は入院で混乱気味の時もあり、家族も疲れましたが、無事退院しました。

長島さん…一時体調を崩しましたが、通所始めに比べると、半纏のわきにある紐を結べるようになっていたり、体の柔らかさも出てきたり、変化が見られます。

柳田CM…200回体操を自宅でもする等、自らの努力が実を結んだのではないのでしょうか。

長島さん(お嫁さん)…義父と関われる時間が少ないのですが、それまでの決まった内容の会話ではなく、デイサービスでの出来事も含め頂いた写真を見ながら様々な話が出てくるようになりました。藤田さん…母が何度言っても炊いたご飯を冷凍庫へ入れてしまう。何度言っても難しいし、デイサービスとかは無理だね。

柳田ケアマネ…ご家族もあきらめず、繋がられるといいですね。  
中島さん…今回外部評価

制度というのを初めて知った。その為の研修や勉強をするのはとても大変な事ですね。更に団塊の世代が要介護になって利用者になると今までの戦前生まれの方々は違う対応をしないとイケなくなるから本当に大変になると思う。

\*長島さん(お嫁さん)…特養ホームに伺う機会があります。多世代と関わりを持つ中で、独自の表現方法を持っているのは80代以上ではなく、70代の方と感ずることもあります。様々な世代の方々の状況を把握して関わらねばならないと思います。

院長…そのような状況が発生する事が予想され昔の考え方と変わったところがある。それに合わせていく必要があると思います。

**\*文化祭について**

今回は子供達にもぜひ参加してもらいたい文化祭です。10月28日・29日に開催されますので、ぜひ皆さまも足を運んでご参加下さいませようお

願いたします。  
文責：柳田ダイケア  
杉山

**文化祭** 入場無料  
11月28日、29日

⑧会場 (三々五々館)

**原爆記録・戦争記録**

回想映画上映

①「ヒロシマ・母たちの祈り」  
30分

(広島平和文化センター) 製作

②「ロマンの記憶」  
広島 35分

(株)中国放送製作

③海なお深く  
39分

(一戦没船と船員の記録)

全日本会員組合製作

④広島で何が起ったか?  
46分

(株)中国放送

⑤原爆投下(活かされなかった極秘情報)58分

：NHK エンタープライズ

⑥EFFECTS OF THE A  
TOMIC BOMB ON HIR

OSIMA AND NAGASA  
KI 164分

・広島市製作  
映像文化ライブラリー

⑦第一楽章  
朗読 吉永小百合  
151分

ピクチャーエンタテインメント

(10月28日(土)、29日(日)会場：三々五々館)

来場者集まり次第開始  
及び時間随意

⑧28日1時半～2時半  
戦争体験者の座談会

⑨29日1時15分～2時半  
認知症の寸劇  
と軽度認知障害(MCI)についての話



文化祭(B)会場三々五々館



文化祭(A)会場ダイケア室

**作品展示お知らせ(A)会場**  
「ダイケア室展示物」  
①ダイケア・デイサービス作品  
②グループホーム作品  
③居宅居宅事業所掲示物…栄養補助食品と低栄養について試飲  
④調理室では普通食、きざみ食、ペースト食を展示  
⑤作品展示ではリンゴのコースターの作り方体験  
⑥ダイケアアイジーウォークで心臓運動の体験  
⑦車イスの操縦法  
⑧高齢者の疑似体験コーナー  
⑨他⑨ボランティアさんの作品コーナー

文化祭利用者座談会について

日時 10月28日

(土) 三々五々館

参加時間

13時30分

～14時30分

利用者様 DC市毛、

熊谷、DS柳GH本間、

堀田

一人10分間にする予定で質問形式で行います。自由にお話しすると收拾がつかなくなる事が予想される。お話し出来ない方もでてくるかもしれない為。

この他質問内容はまだ決定はしていませんが戦争のお話しや、川崎の有名な歌手である坂本九に関する事に関心したいと思います。

最後の10分間ですが子供達からの質問時間にしたいと思います。

例1. 戦時中、戦後で苦労した事。(市毛、熊谷、柳、堀田)

2. 今の子供に伝えた事等で考えています

3. 坂本 九について (本間)

子どもと交流笑顔



川崎宿今昔物語

8月16日東海道かわさき宿交流館へ行ってきました。(8月記事文)

その日はあいにくの雨でしたが、無事に着くことができました。中へ入ると万年屋コーナーがあり、見学前に座って大型映像で「六さんの川崎宿今昔物語」東海道五十三次川崎宿や明治以降の発展について六さんというキャラクターが解説してくれました。学んだら早速3階の現代の川崎の歴史や文化を見て学んだり機械を使って明治から昭和現代に至る市全域の航空写真や地図の情報を手で触れながらいろんな場所いろんな時代を覗くことがで

きました。また、縁のある人物の写真が多く、川崎出身の有名人坂本九の写真もあり、どのような人だったかを知ることができました。

次は2階の江戸時代へと行きました。現代とは違い川崎宿の町並みにも物語になりボックスになり並んでいました。また、床に描かれた川崎宿の地図に皆さん「わあ、すごい、足元にも地図があるよ」と驚きながら現地のスタッフさんの解説と共に知ることができました。また、旅人の服を着て撮影する場所があり「これ本当に着て大丈夫？変じゃない？」と皆さん恥ずか

しがりながらも衣装に着替え浮世絵を背にポーズをしつかりとりながら笑顔で楽しませていました。何回行っても皆さんで楽しめる所だなあと思ったのと、「度きりでは全てを知ることが出来ないと思います。何度か足を運び皆さんとたくさん学んでいけたらと思います。」

高橋

「富士見中学校フィールドワーク」  
9月20日に富士見中学校のフィールドワークがあり、男子生徒3名、女子生徒3名がデイサービスに來られました。そこにグループホームの利用者さんもお邪魔させてもらいました。生徒さん達はデイサービスとはどういうところか勉強に來られ、デイサービスでは朝の会をしているところでした。生徒さん達と利用者さん達とが互いに自己紹介をしていき、95歳の利用者さんがいるということに皆さんびっくりされていきました。自己紹介が終わると、生徒さん達も加わり、もし亀体操をみんなで行いました。古い曲は生徒さん達には分からなかったようですが、うさぎとかめや桃太郎は知って一緒に歌うことができました。生徒さん達にも何か一曲リクエストをして校歌を歌ってもらい、利用者さん達も皆さん

喜ばれていました。その後はお互いに質問をして交流をしました。生徒さん達も自分のおじいちゃんやおばあちゃんよりもずっと年上の方々とお話をして勉強になったようですし、利用者さん達も若い子供たちとの交流でたくさん元気をもらったようでした。今後このような機会があればぜひ参加させて頂きたいと思いました。

グループホーム旭町 漆原

